



大町市キャラクター
おおまびよん

／お互いさまのまちづくり

第165号
平成25年 8月1日

社協 おおまち

中高年って…
いいなあ～



遊休農地をトウモロコシ畑に… 7月20日



大黒町の有志12人で「そばとんとん会」をつくっている。この会は、街中の遊休農地でトウモロコシやそばを栽培している。過日、草刈りや消毒作業に汗を流した。

会発足のきっかけは、「まつりの年番だ」と話すのは事務局担当の横澤さん。「高い志があるわけではない。ただ、皆で楽しみながら何かやりたいね…」と考えているところに遊休農地があった。「そばを作って皆で食べよう…」と思ったのが始まり。

トウモロコシは『JAまごころ市場』に出荷しており、ファンも多い。それが次の活動への糧となり10年以上活動を継続している。笑顔と元気な皆さんでした。

主な内容は

- ◆特集!権利を守る仕組みや制度…………… 2～3 ページ
- ◆被災地レポート 岩手県山田町より…………… 4 ページ
- ◆地域の防災に共同募金…………… 5 ページ

- ◆社協特別会費…………… 6 ページ
- ◆心配ごと相談日程…………… 7 ページ
- ◆お知らせ 希望の旅参加者募集ほか…………… 8 ページ

いつまでも自分らしく安心して暮らし続けるために…

大町市の高齢化率は30%を超え、3人に1人が高齢者となりました。長野県によると、10年後の平成35年には、認知症高齢者数が、県内で5万4千人になると推測されています。

最近では、市内でも高齢者などを狙った不審電話が後を絶ちません。『いつまでも自分らしく安心して暮らし続けたい』…多くの方の願いではないでしょうか。そんな思いを実現するために、権利を守るさまざまな制度や仕組みを紹介します。

成年後見制度 — あなたの権利 守ります —



成年後見制度って何だろう？

年をとったり、障がいがあることにより、物事を判断する能力が十分でなくなっても、安心して暮らすことができるように、ご本人を法的に守る制度です。



ケース こんな方が制度を利用されています

◆認知症のAさん、夫と二人暮らし。夫が倒れ意識不明の状態が続いている。夫の口座から医療費や生活費を下ろそうとしたが、金融機関から拒否された。生活費がない…。

◆知的障害のあるCさん。祖父と二人暮らし。母は時々訪れ現金を持っていきます。ついには、二人の年金を担保に借入をし、母は行方不明。年金が入らなくなった二人。生活はどうすれば…。

【大北地域の事例】

任意後見制度 — 将来の不安… 自分で決められるうちに —

意外と簡単な任意後見契約

ケース

50代の女性Aさんは、友人Bさんと任意後見契約を結びました。

きっかけは、Bさんが入院生活を送るようになり、家族がいなかったため、Aさんが入院費の支払を手伝っていました。

Bさんは自分の病気が進行した後で、Aさんに入院費等で迷惑をかけたくないと相談。Aさんの息子が『任意後見契約』をしてはと、調べると、公証人役場の公証人と相談すればいいことがわかりました。

公証人と打ち合わせをして、公証人が契約書類を作成しました。公証人役場へ電話してから1ヵ月ほどで、Bさんとの契約ができました。

【長野県社協 相談事例より】

任意後見制度は、自分で決められるうちに、自分の判断能力が十分でなくなったときに、誰に金銭管理や財産管理をお願いするかをあらかじめ決めておくことができる制度です。



成年後見制度と違って、自分で支援者を決めておけることが、特徴です。

まずは、長野県社協や司法書士などの専門家へご相談を。

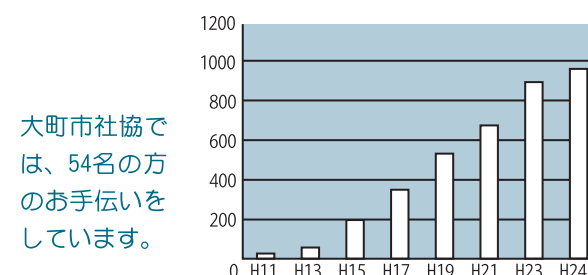
日常生活自立支援事業 — あなたの暮らしの安心をお手伝い【社協の取り組み】 —

“福祉サービスを利用したいけれど、手続きがわからない” “銀行でお金を下ろしたいけど、自信がなくて誰かに相談したい” “訪問販売の人が来た。どう対応していいかわからない”

毎日の暮らしのなかにはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。そんな不安を抱えている方のお手伝いをさせていただく事業です。

県内契約者数1,000人に迫る

平成11年度からサービスが開始され、利用者は年々増加。ニーズの高さがうかがえます。



「成年後見制度」実は身近な制度です

日常生活自立支援事業は、あくまでご利用者自身の意思に基づいて支援をします。

本人の意思が確認できなくなると、支援を続けることができなくなります。

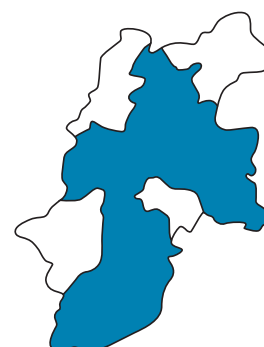
こうした場合、法的な効力をもって支援する『成年後見制度』が必要となります。

日常生活自立支援事業の利用者が多いということは、成年後見制度も身近な制度といってもいいでしょう。

成年後見支援センター 各地でスタート — 権利を守る総合窓口 —

成年後見制度に関する相談に応じるため、成年後見支援センターの設置が県内各地で広がっています。支援センターは、成年後見制度の相談、手続き支援、研修会等を実施する機関です。

成年後見支援センターの設置状況



平成25年6月現在

長野市 塩尻市
上小圏域 上伊那圏域
佐久圏域 飯田圏域 松本圏域

県内7カ所の内、6カ所では、社会福祉協議会、1カ所では、広域連合に設置されています。

県内7カ所では昨年度、新規1,035件、継続3,614件の相談実績がありました。

悪質商法被害や家族との金銭管理問題などさまざまな相談に対応する支援センター。大北地域でも設置が望まれています。

社会福祉協議会では、相談・支援態勢の強化を目指しています！

地域社会では、子が親の金銭を搾取している事例や逆に子どもの障害者年金を親が不当に搾取している事例などもあり、さまざまな複合的課題をもった世帯が増えています。

社協は、『誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくり』の一環として、行政や専門機関と連携し、複雑な課題にも対応できる相談態勢を強化していくことを目指しています。

被災地レポート — 岩手県山田町 — 2年半の記録とこれからの被災地支援

すべてが変わった2年半前のあの日…

平成23年3月11日(金)午後2時46分 地震発生
— 約30分後 津波到来 —



押し寄せる津波



津波のあとの大火災



変わり果てた街並み

始まった 災害ボランティア活動



H23. 4月～5月

①側溝の泥かき ③写真洗浄
②がれき撤去・整地 ④がれき土のう詰め・運搬



H23. 6月～7月

①引越補助(家具運搬) ②③保育園夏祭りイベント
④仮設住宅物資運搬



H23. 12月～H24. 3月

①③仮設集会所棚設置プロジェクト
②大杉神社プロジェクト ④漁具の洗浄活動

今、求められる被災地支援 — 山田町社協 福土事務局長に聞きました —

●山田町の復興状況は

大町市の皆様には、大変なご支援をいただき心より感謝しています。あの日から2年半が経過しようとしており、がれきもなくなり、プレハブの商店も立ち並ぶようになってきました。街並みは少しずつ変化してきていますが、本来の町の姿にはほど遠く復興は先が見えない状況です。

●今求められる支援やボランティア活動は

心を和ましてくれる活動が必要。仮設住宅にいる方を中心に、先の見えない不安が大きい。仮設の公民館で高齢者向けのサロンをやっていて、運営のお手伝いをしてほしい。

これからの活動としては、子どもたちの遊ぶ機会や場所がないため子どもサロンが必要。また、仮設住宅から引越しをしていく方のため引越しの手伝いが必要になってくる。



現在のボランティア活動

①側溝の泥かき ③みんなの畑づくり
②海岸清掃(浜の再生) ④サロン活動各種

一もっと知りたい 知らせたい

地域の防災に共同募金を…



共同募金 公募配分事業

安心安全なまちづくり活動支援公募配分事業

“地域の防災は自分たちで”という皆さんに共同募金から助成が受けられます。今年は市内6団体へ総額868,000円の助成決定がされ、地域の防災強化に役立てられています。



須沼自主防災会
遠藤 隆王さん

消火栓ホースと 格納箱購入経費 【助成額 200,000円】

いざという時に必要な消火栓ホース。更新が進まない中、助成金を活用した。



大黒町自主防災会
横澤 大行さん

テント2張りの購入経費 【助成額 200,000円】

自主防災会の充実として、防災備品の整備が必要。災害時だけでなく平常時から活用できる備品としてテントを購入。



社連合自治会
鎌倉 久さん

防災虎の巻作成費用 【助成額 65,000円】

100年前に大町地震が発生し、甚大な被害があったと記録されている。社地区は、山間急傾斜地に位置しており、災害が発生した場合、臨機応変な避難誘導が必要であり、住民皆さんの意識の向上と被害を最小限に防止するため、防災虎の巻を発行。全戸配布する。



下一自主防災会
丸山 隆士さん

ガス発電機や投光器、ガス炊飯器等購入経費 【助成額 200,000円】

東日本大震災では、手作りのおにぎりや味噌汁が喜ばれたと聞いた。地域で、ある程度の避難生活が送れるよう防災備品の整備が必要であり、助成金を申請した。



清水区自治会
勝野 善文さん

発電機の購入経費 【助成額 114,000円】

災害発生時には、電源がなくなる場合が多い。救出現場の明かりや、さまざまな用途に電気確保が必要であり、発電機の購入を検討し、助成金申請をした。清水は、傾斜地であり、水害の発生リスクが高い。日ごろの備えが必要。



館ノ内内科2組
西澤 運之さん

防災備品(リヤカー、トランシーバー、拡声器)購入経費 【助成額 89,000円】

災害時地域の高齢者をどう安全に避難させるかが課題となった。その課題解決にリヤカー購入を決断。他にも情報伝達の考えから、トランシーバー、拡声器を購入した。



今年も募集します!

9月下旬ころに、募集の詳細についてご案内します。ぜひ、地域の防災力強化に共同募金を活用ください。

お互いさまのまちづくり

大町市社会福祉協議会の 『特別会費』にご協力をお願いします



大町市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくり」を目指して、日ごろから声のかけあえる地域づくりを支援していきます。そのため、一人でも多くの方に趣旨に賛同いただき、「特別会員」として市社協を応援いただきますようお願いいたします。

募集方法

- 7月下旬から、担当民生委員の皆さんが、ご家庭にお伺いします。
- 社協事務局でも、年間を通じて受け付けしておりますので、ご協力をお願いします。

**特別会費
お一人
3,000円**

会費で支えられている事業をご紹介します。

ボランティア連携・啓発活動

ボランティア同士の情報交換や交流により、活動の相互活性化を図ります。



(ボランティア交流研究集会)

小地域福祉活動

地域での見守りや交流会活動を行います。



(山下あやめ会と保育園の交流事業)

ご近所支え合い活動

災害時の支え合いマップづくりの推進をします。



(支え合いマップ作成中)

地区社協活動

地区の生活課題に応じた地域福祉活動を進めます。



(大町地区社協 交流事業)

福祉教育・地域の担い手育成

市内の学校や地域での福祉体験講座を行います。



(小学校でボッチャ体験)

広報・啓発活動

機関紙「社協おおまち」により、福祉の情報をお伝えします。



事前予約にご協力ください。 ☎ 22 - 1501 (大町市)

大北地域心配ごと相談日程 8月・9月

8月	開催日	時 間	相談内容	担当者	場所	開催者・連絡先
	8月5日(月)	13:00~16:00 13:00~15:00	心配ごと相談 司法書士相談	心配ごと相談員 司法書士	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
	8月19日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
	8月26日(月)	13:00~16:00 13:00~15:00	心配ごと相談 司法書士相談	心配ごと相談員 司法書士		
	8月27日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62 - 9544
9月	8月7日(水)	13:00~15:00	生活相談 子育て相談	民生委員 児童委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62 - 9000
	9月2日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
	9月9日(月)	13:00~16:00 13:00~15:00	心配ごと相談 司法書士相談	心配ごと相談員 司法書士		
	9月10日(火) 9月24日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62 - 9544
	9月4日(水)	13:00~15:00	生活相談 人権相談	民生委員 人権擁護委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62 - 9000
	9月10日(火)	13:00~16:00	人権・ 心配ごと相談	人権擁護委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72 - 5000
	9月11日(水)	13:00~16:00	心配ごと相談	司法書士 民生委員	小谷村開発センター	小谷村社協 ☎82 - 2430

◎お気軽にご相談ください。
このほか、【常設相談】土日
祝日を除き毎日受け付け
ています。 ☎22 - 1501

★電話相談 どんな悩みごともお気軽にどうぞ。

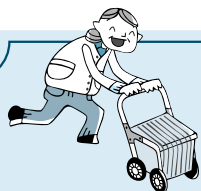
★日常生活自立支援 障がい者・高齢者の方で、ご自分で判断することが難しく、
日常生活や財産管理についてお困りの方。

★ボランティアセンター(社協内) ボランティアについての相談。

ふれあいの窓 善意の寄附をありがとうございます H25.5.16~H25.7.15(敬称略)

【現金】 宮坂 一(小銭募金)…………… 1,416円
匿名…………… 3,000円
匿名……………50,000円

【物品】 神楽町女性部……………日用品、タオル多数
【使用済切手等】 匿名多数



市民の声に
お応えして

シルバーカー 市役所へ!!

要望にお応えして、市役所本庁玄関に皆さんがご利用いただけるシルバーカーを設置しました。

このシルバーカーは、市社協へ市民から寄贈いただいたものであり、寄付者の
気持ちを尊重して、有効活用させていただくものです。

市役所へお越しの際は、是非ご利用ください。



参加者募集!!

今年もやります

『希望の旅』

今年の希望の旅は諏訪湖方面。遊覧船に乗って、美術館を見学します。皆様のご参加をお待ちしています。

- 日 時 9月26日(木) 7時30分～17時30分(予定)
- 行 先 諏訪湖方面
 - 諏訪湖遊覧船への乗船(車イスの方も乗船いただけます)
 - 原田泰治美術館の見学
- 対象者 市内にお住まいの障がい手帳をお持ちの方と付添者
- 参加費 おひとり 2,000円
- 申 込 9月6日(金)までに下記へお申し込みください。
- 問い合わせ ・大田市社会福祉協議会 TEL22-1501 ・八坂地域福祉センター TEL26-2100
・美麻地域福祉センター TEL29-2341



ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア室にインターネット 新しいコピー機も…

利用には
事前予約が必要です!

皆様からお寄せ頂いた寄付金を財源に、ボランティア室にインターネット環境を整備しました。コピー機も新たに設置しましたので、日ごろのボランティア活動にご活用ください。

- 使用条件 大田市ボランティアセンターに登録されたボランティア団体や個人の方
- 設置場所 ボランティア室 (大田市総合福祉センター 2階)
- 利用料等

《コピー機》

- ★ 利用料金：白黒：4円/面 カラー：25円/面
- ★ 用 紙：持ち込みでお願いします。
- ★ 支払方法：半年ごとにまとめてご請求します。



《パソコン使用》

- ★ インターネットの閲覧、ワード・エクセルが無料で利用いただけます。
- ★ プリント：用紙は持ち込みでお願いします。白黒：4円/面 カラー：25円/面
- ★ パソコン仕様：Windows 7 です。ワード、エクセルは2010モデルです。

《ボランティア登録》

社協では、ボランティア活動の推進、支援と情報交換を目的にボランティア登録をお願いしています。

- ボランティア登録いただくとコピー機やパソコン利用のほかに…
 - ① 活動助成金やボランティア保険の掛金補助が受けられます。
 - ② 大田市総合福祉センター会議室利用料金の減免が受けられます。
 - ③ さまざまな研修情報や助成金情報を提供します。
 - ④ ボランティアセンター運営委員会の委員として協力いただく場合があります。

「社協 おおまち」へのご意見、ご希望、投稿などみなさんの声をお寄せください。

〒398-0002 大田市大町1129 大田市総合福祉センター内

編集・発行：社会福祉法人 大田市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail soumu@omachishakyo.or.jp